

「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の

松 井 久 子 監 督 作 品

何を怖れる

フェミニズムを生きた女たち

70年代初頭にウーマンリブが始まった頃
彼女たちはまだ20代、30代だった
おのれの生きにくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた
その後約半世紀、女たちは自己と社会を肯定すべく
つよい意思をもって生きてきた
男社会からうとまれても、同性たちの偏見や誤解の目に晒されても
すすんで自らを「フェミニスト」と名のり、目の前の壁と闘いながら
つねに女たちと共感し、女たちとつながって
老年期を迎えた今もなお、みずみずしく女であることを愛している
そんな彼女たちは、時代に何を遺そうとしてきたか？
次の世代に何を伝えようとしているか？
「ユキエ」「折り梅」「レオニー」の松井久子監督が
フェミニストたちの証言でつづる初のドキュメンタリー映画

松井久子

Hisako Matsui

映画監督 / プロデューサー



闘った、生きた、老いた……
彼女たちの「リブ」は、自分を生きること。



出演●池田恵理子、井上輝子、上野千鶴子、加納実紀代、駒尺喜美、桜井陽子、高里鈴代、高橋ますみ、滝石典子、田中喜美子、田中美津、中西豊子、樋口恵子、米津知子

渋谷シネパレス

2015年1月17日(土)～2月6日(金)

(JRハチ公口・渋谷口フト前・三葉ビル7F) 03-3461-3534

横浜シネマリン

2015年2月7日(土)～2月20日(金)

(地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩2分、
城南信金向かい上郎ビルB1) 045-261-1007

<http://feminism-documentary.com>